

YAMAGATA-NANKOH TOKYO ALUMNI DIGEST 2024

山形南高東京同窓会報

- 20号記念「レジェンド訪問」
- 南高生の「今」—— 南高新聞部企画
- 南高写真部 作品展
- 南高同窓生の交流会
- 秋祭り2023 ● R6キックオフミーティング
- お知らせ
- 令和5年度総会・懇親会
- ごあいさつ

写真：南高写真部3年 杉山直駿（すぎやま なおとし）

レジェンド訪問 毛利 昭 顧問

(南高 12 回卒)



聞き手

小松 栄三郎 会長
(南高 15 回卒)

80歳を超えても挑戦を続ける毛利顧問。
その情熱と冒険心は、まさにレジェンドの頂点。
絶え間ない「南高魂」は、我ら同窓生の目標です。



毛利顧問と小松会長

撮影協力：アルカディア市ヶ谷

【都立高校校長定年退職とその後】

はい、今年で81歳になります。昔は、80歳などと言えばヨボヨボの爺さんのイメージ（笑）でしたが、なってみると何てことありませんね。むしろ昔より元気かもしれない。その証拠に、去年は日本橋から富士山頂への行脚を敢行して富士山頂に立ちました。行脚最終日の10日目は、富士吉田口の五合目を朝の6時に発って、山頂を極め五合目に降りて来たのがその日の午後5時半でした。往復11時間30分でした。その様な仲間と、今年は、旧甲州街道を歩くと言う事で、長野県下諏訪宿を目指しております。日本橋から大月までは昨年歩いていると言う事で、今年は大月からと言う事になり、二回目で甲州街道の最難関と言われる「笹子峠」を歩いて超えてきました。次回は、駒飼宿から石和宿に至り温泉で疲れを癒し、翌日は甲府宿までの行程を歩く予定です。

想えば、私の生き様は区切りの年ごとに何かに挑み続ける人生でした。例えば40歳になった頃は、スキューバダイビングにはまり、伊豆半島から伊豆七島まで行動範囲を広げ、翌年にはフィリピンのセブ島に遠征するなど、夏休みを有効に使っておりました。そして50歳代に入ると、銃砲刀剣類所持許可証の取得と狩猟者登録証の取得でした。筆記試験と実技試験が有るのですが、事前に最寄り警察署の推薦を得る必要があります、大田区蒲田署の生

活安全課長の面接を受けた記憶もあります。当時は散弾銃を10年満ち続けるとライフル銃も所持することが出来ると言う事で頑張ろうと思いましたが、最大の誤算は、狩猟には犬が必要であると言う事でした。しかし、マンション住まいではそうもいかずライフル所持は夢となって散りました。

60歳代に入ると、何と、マウンテンバイクでの通勤です。徒歩と電車で30分のところ自転車ですと25分で着きます。これは楽でしたが帰りに居酒屋に立ち寄ると言う楽しみを捨てる事になりました。まあ、自転車を事務所に置いて帰れば大丈夫でしたけど。そのバイクには今でも乗っておりますが、自転車好きの若者と「ムスタン」をマウンテンバイクで走ろう」なる企画を立て、ネパールの果てまで繰り出したこともありました。

ムスタンと言うのはネパール国内に在った小さな王国で、今ではネパールに併合されております。高度は4000mもありチベット高原から流れ出るカリ・ガンダキ川沿いにキャラバンルートが続いておりました。そこをバイクで走破しようというものです。ジムでペダルを踏んで脚力を着け、山道へも挑戦しました。しかし、現地に行くと気が付いたことは、必要なのは脚力でも耐久力でも無く酸素でした。空気が薄い現地ではペダルを踏むたびに呼吸困難に見舞われ、まともに走行できた距離は企画していた半分ほどでした。



渡辺貞夫氏と

70歳代に入るとアルトサックス演奏に挑戦しました。プロの先生に教えてもらい頑張りました。しかし、音符はドレミファ・・・でした。私が山形南高で教わったのはドイツ語のCDEFGAB（ツエデーエーエフ・・・）でしたのでその変換が苦痛でした。僅か3年の音楽の教えでこうも

変わってしまった私に驚きました。ある日、ナベサダこと渡辺貞夫氏にお会いしたおり「70の手習いでサクスを始めました」と言ったところ大いに喜ばれツーショットに納まりました。新しい80歳代は「書」か「墨画」に挑戦しようと考えております。

【私の履歴書】

生まれは昭和18（1943）年7月22日の「かに座」です。白鷹山（994m）の麓にある吉野村小滝と言う寒村で生まれました。小滝小学校4年の夏に山形市緑町に移り住み、山形市立第五小学校、直ぐに第八小学校へ転籍になり、中学校は山形市立第一中学校です。当時は一教室に55名もの生徒が溢れ、その様な教室が11クラスもありました。山形一中から進学したのが山形南高等学校でした。部活動は「剣道部」に所属し頑張りましたが、途中で挫折してしまいました。

在学中は、最終目標は大学進学と定め、文化放送の「受験講座」などを聞いて受験勉強に励みました。その甲斐もあってか東北大学工業教員養成所土木工学科に進学する事が出来ました。卒業後は、東京都立田無工業高等学校建設（土木）科の教諭として奉職しました。昭和60年に都立小石川工業高校に異動し、平成5年に定時制の教頭として都立向島工業高校に赴任しました。3年後には全日制の教頭として都立世田谷工業高校に異動しましたが、1年半後の平成9年10月に教育庁学務部副参事として、東京都総合技術教育センター（通称：テクノセンター）技術教育部長に赴任しました。



平成14年4月に都立王子工業高校の校長として現場に戻り、16年3月末で定年退職となりました。翌日からは、公益社団法人全国工業校長協会事務局に再就職し、事務局局長を経て平成22年6月で退職しました。顧みれば45年以上にわたり工業教育一筋に突き進んできました。この事が功績として評価されたと見え、平成27年秋に「瑞宝小授章」の栄を賜り、同年皇居にて天皇の拝謁を受けました。ご褒美の「園遊会」は翌年春でしたが、良い経験をさせてもらったと感謝しております。

【社会貢献や趣味など】

同窓会の役員も立派な社会貢献活動として捉えておりますが、私には「お節介」な面があると見え、行く先々

で何らかのアクションを起こしてきました。現在もマンシヨンの管理組合の理事を務めたり、港区公認の老人会「PASの会」を結成したりしております。若い頃は大田区蒲田に住んでおりましたが、地元の小学校の剣道教室「蒲田剣道クラブ」に所属し、地域の小中学校の子供たちに剣道を教えてきました。高校で挫折した剣道を社会人になってから学び直し、段位を取得して指導に役立ちました。15年ほどですが楽しかったですね。

開発途上国への支援では、全国の工業系の先生方と図って支援団を結成し、ネパールに学校を建設してきました。当初は「ネパールの工業高校の生徒と日本の生徒との交流」が目的でしたが、識字率が30%（当時）台の現実に直面し、交流より学校支援にと方向を転換し、小学校建設に着手しました。そして、乞われるまま同一敷地内に中学校を建てました。更に、村からの陳情を受け同じ場所に高等学校を建設するまで事業を続けました。今では、地元の教育センターの様な場所として残っております。ネパールに関わって30有余年、本プロジェクトには25年もの年月を費やし、初回からの参加者は数少なくなっております。旅費や滞在費などはすべて自前であり、出費も嵩みましたがそれ以上に得るものの多い事業でした。

ネパールに触発された訳ではありませんが、秘境への旅が病み付きになり、南極大陸をはじめ世界の七大陸や七つの海をも旅してきました。行く先々での景観を楽しみ、人情に触れる旅を続けております。世界に飛はばたく南高生を目指し、これからも世界を飛び回ろうと老体に鞭を打って頑張っております。特段なレジェンドと言う訳ではありませんが、南高で培われた冒険心は持ち続けていきたいと思っております。今回は有難うございました。

“地球ワイドで動く人” 毛利さん、がんばれ～！

山形南高東京同窓会 会長 小松 栄三郎

ネパールの子供たちのために小学校、中学校、高等学校を建設された情熱は他に比べ得るもののない快挙です。

毛利さんは、まさに地球ワイドで動く人。

その挑戦を支えているのが南高魂だそうだ。

毛利さん、がんばれ～！

毛利さん、ありがとう！



南物語

なんふいくしょん

第60回 南高祭

南高祭が、令和5年8月24日から27日まで開催された。今年度は「南物語(なんふいくしょん)」をスローガンに掲げ、新型コロナウイルスによる制限なしの開催となった。1日目に体育祭を予定していたが、熱中症のおそれもあり中止となった。2日目文化祭、3日目一般招待と後夜祭が行われ、大盛況で幕を閉じた。

前夜祭

前夜祭では、毎年恒例の仮装行列で、南高祭をアピールしながら市内を歩き回った。それぞれ工夫を凝らした服装をして楽しんだ。グラウンドでは早食い競争やローション相撲といった企画が催され、おおいに盛り上がった。



仮装記念撮影

体育祭

体育祭は、熱中症の危険性が高まったことから中止された。来年は中止にならないよう、さまざまな対策を施して開催できるようにしたい。体育祭優勝旗を新たに作り、壇上で体育祭部門長が代表で受け取った。



クラス集合



優勝旗の贈呈

文化祭

工夫を凝らした各クラスの出し物と吹奏楽部、映画演劇研究部、合気道部の練習の成果を講堂で発表した。



書道部パフォーマンス



クラス出し物



吹奏楽部演奏

一般招待

多くの来場者を迎え、コロナ明けの南高祭はかつての活気を取り戻した。復活した模擬店、恒例のウォーターボーイズ、女子高生とのフォークダンスなども大盛況であった。



模擬店



ボディビル



あこや姫



ウォーターボーイズ



フォークダンス

後夜祭

南高祭の最終イベントである後夜祭で、無事に終わったことを祝い花火を打ち上げた。応援団の引継ぎでは3年生から2年生へ団長の長ランが渡され、感動に包まれる中、祭は幕を閉じた。



応援団の引継ぎ



花火打ち上げ



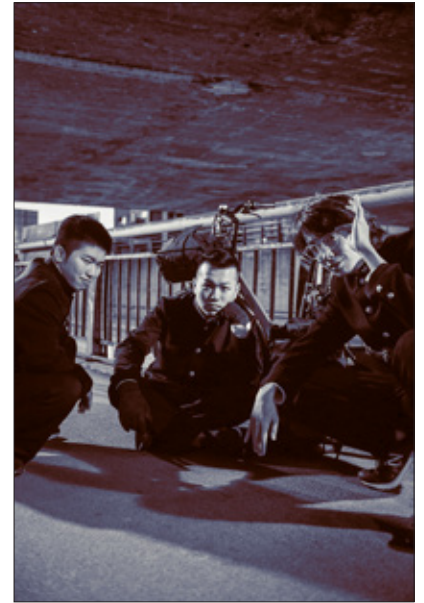
全校生徒記念撮影

東京同窓会報に寄せて

今年度も、同窓会の皆様に南高の様子をお伝えする機会を与えていただきありがとうございます。今年は久しぶりの規制のない一般招待を開催することができ、充実した南高祭となりました。いつもと違った雰囲気の高祭に笑顔が溢れ、来場して下さった一般のお客様にも楽しんでいただけたと感じています。現在の南高生をこのページを通して知っていただき、これからの活躍を見守ってください。 南高新聞編集部

全日本写真展2023 高校生の部

銀賞 「見つめろ」 3年2組 あとかゆうた 安宅優太



令和5年度 第47回山形県高等学校総合文化祭 第28回写真展

優秀賞 「ザTHE PROFESSIONAL」 2年2組 したらあさひ 設楽旦陽

令和6年全国高総文祭の参加権を獲得しました



優秀賞 「きれい樹麗」 1年5組 おくやまはるた 奥山陽太



優秀賞 「得意満面」 1年4組 さいとうたいち 齋藤泰地



優秀賞 「かけよ、青春」 2年5組 すぎやまなおとし 杉山直駿

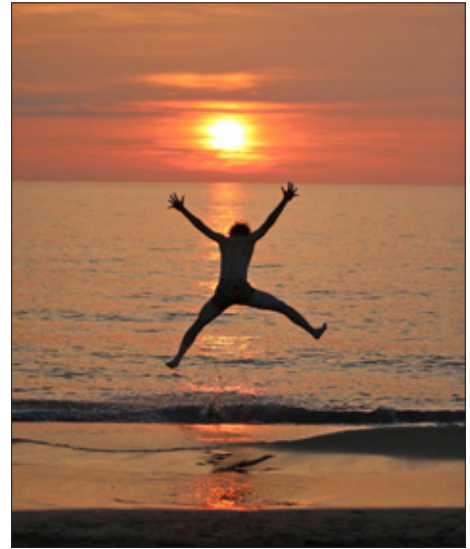


優秀賞 「意地」 3年2組 あとかゆうた 安宅優太

部 作 品 展

山形県高校生フォトコンテスト2023

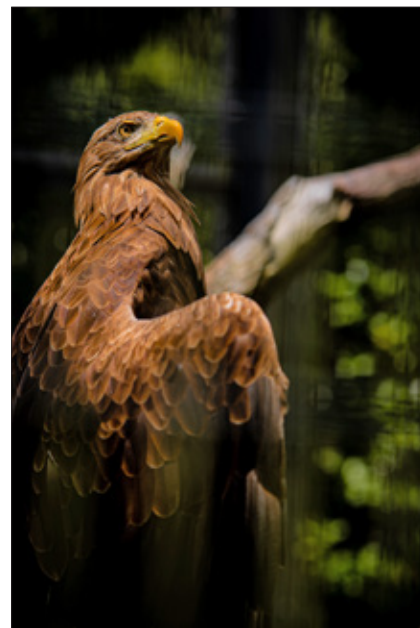
1席 「自由の光に照らされて」 1年6組 すだたいし 須田太志



入選 「兄弟」 1年4組 さいとうたいち 齋藤泰地



佳作 「守り抜いてきた技」 2年5組 いしやまかんた 石山勸太



佳作 「嶺」 3年2組 あたかゆうた 安宅優太

第62回富士フィルムフォトコンテスト U-39部門

優秀賞 「水南千手観音」 1年5組 せい の ようへい 清野陽平

優秀賞 「友人A」 2年5組 すぎやまなおとし 杉山直駿

作品写真は権利の都合で掲載できません。



南高写真部

※学年は令和5年度

令和5年度 第85回 やまがた県人まつりに参加

令和5年9月3日(日)/ホテルニューオータニ「鶴の間」にて開催

山形県人東京連合会 加盟65団体 616名が参加、南高OBは各団体の責任者として参加
南高東京同窓会小松会長が会場委員長として乾杯の挨拶でスタート!



各団体の責任者として活躍する南高OBのみなさん



会場委員長の小松会長
乾杯の挨拶でスタート!



東京山辺会・稲村会長と兄様



伊藤副会長と東京事務所佐竹副所長



お別れは「ふるさと合唱」



何でもお気軽にご相談ください

黒田治彦税理士事務所

税理士・認定経営革新等支援機関・登録政治資金監査人

黒田 治彦 (南高 21 回卒)
Kuroda Haruhiko

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-14-2 雄邦ビル1階
Phone 03-3556-8068 Fax 03-5213-4667

E-mail:kuroda_zeirishi@ybb.ne.jp
Mobile:090-4964-7616



山形南高東京同窓会秋祭り2023

「山形の芋煮とお酒を味わう会」

2023/11/25(土)14:00～神田「のむず」

秋の交流会イベントとして初開催！



記念の一枚「ハイ、チーズ！」

参加者	
1 毛利 昭	12回卒
2 加嶋 隆夫	12回卒
3 片桐 秀昭	12回卒
4 佐藤 守彦	14回卒
5 小松 栄三郎	15回卒
6 柿崎 廣幸	19回卒
7 土田 和男	25回卒
8 村岡 登	25回卒
9 大場 勝一	30回卒
10 伊藤 和弘	32回卒
11 高橋 達志	32回卒
12 菊地 真治	38回卒
13 黒沼 篤	38回卒
14 青木 宏	39回卒
15 飯野 典朗	39回卒
16 浅黄 祐樹	45回卒
17 関澤 友伸	45回卒
(敬称略)	



まずは「カンパ〜い！」



全日本芋煮会同好会
黒沼代表からひと言

芋煮鍋と山形のお酒で話が弾みました！



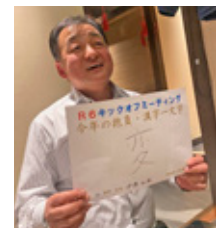
山形南高 東京同窓会

R6キックオフミーティング(新春の集い)

日時:2024年1月18日(木)18:30~20:30

会場:彩蔵 池袋サンシャイン通り店にて

No.	氏名	卒業回	今年の抱負 漢字一文字
1	毛利 昭	12回卒	火
2	加嶋 隆夫	12回卒	楽
3	佐藤 守彦	14回卒	氣
4	小松 栄三郎	15回卒	集
5	城戸口 隆	16回卒	進
6	柿崎 廣幸	19回卒	雪
7	黒田 治彦	21回卒	笑
8	鈴木 淳一	25回卒	活
9	村岡 登	25回卒	前
10	土田 和男	25回卒	健
11	杉本 俊夫	28回卒	笑
12	峯田 淳	28回卒	続
13	大場 勝一	30回卒	鍛
14	高橋 達志	32回卒	還
15	伊藤 和弘	32回卒	変
16	伊藤 壮太郎	62回卒	継



山形南高東京同窓会

ホームページのご紹介

アクセスはこちら▶



山形南高東京同窓会HPは、同窓生の交流と情報提供の場です。鈴木常任幹事による四季折々の山形の風景配信や、最新のイベント情報、同窓生の活動報告、母校のニュースをお届けしています。山形の自然や文化を感じながら、懐かしい思い出と新しい発見が楽しめます。また、創刊号からの会報誌も閲覧可能です。過去の活動や出来事を振り返ることができます。ぜひご利用ください。



秋まつり2024

山形の芋煮を味わう会

2024年11月30日(土)14:00~

開催予定
会場計画中

令和7年度(2025年度)

山形南高東京同窓会総会・懇親会

日時：2025年6月28日(土)14:00~

場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)

東京都千代田区九段北4-2-25

電話：03-3261-9921

※安全第一での開催を行います。

出席のご予定をお願いいたします。

祝 令和6年度 山形南高等学校 東京同窓会総会

弁護士 菊地真治

(南高38回卒 野球部)

東京弁護士会
菊地真治法律事務所

東京都港区西新橋2丁目2番5号竹内ビル2階
電話：03-6205-7557 FAX：03-6205-7558

総会

2023年7月1日、山形南高校東京同窓会総会がアルカディア市ヶ谷で盛大に開催されました。新型コロナウイルス感染症の5類移行後初の開催となり、多くの同窓生が再会し、喜びに満ちた雰囲気が広がりました。安孫子常任幹事による司会進行のもと小松議長挨拶や伊藤副会長の会計報告、黒田常任幹事の会計監査報告。片桐様への感謝状贈呈など、滞りなく行われました。

14:20 司会あいさつ

14:23 総会・議長あいさつ【小松議長】

議事進行①

令和4年度会計報告（伊藤副会長）

会計監査報告（黒田常任幹事）

議事進行②

令和5年度活動方針、収支予算

【感謝状贈呈】 片桐秀昭様・南高12回卒

※2回目の100万円のご寄附を頂戴いたしました。



小松議長 挨拶



総会風景



永久司会
安孫子常任幹事



会計監査報告 黒田監事



会計報告 伊藤副会長



感謝状贈呈

TORENDOU



都恋堂



女子部JAPAN

こんにちは。南高30回卒の大場勝一と申します。弊社・都恋堂（とれんどう）は、東京都新宿区にある広告制作会社です。Web や紙など媒体は問わず、記事1本、チラシ1枚から、会社案内1冊丸ごと、企業メディアの立ち上げ・運用といったものまで手掛けています。また、自社事業である女子部JAPANでは全国に会員2万6千人を抱え、企業様には市場調査などの場としてご活用いただいております。ご興味をお持ちいただけましたら、お気軽にご連絡ください。

株式会社 都恋堂 〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-11-1 ホームスト新宿ビル 7F
TEL : 03-5369-3851 FAX : 03-5369-3852 Web : www.torendou.co.jp

懇親会

総会に続いて開催された懇親会は、感動と興奮が交錯するひとときとなりました。小松会長の挨拶の後、黙祷と校歌斉唱、来賓挨拶に続き、ディアボロ日本選手権で二度の日本一を誇る工藤正景さんのパフォーマンスが会場を盛り上げました。懇談タイムそして応援歌「空はコバルト」の合唱で、参加者たちは友情を再確認し、笑顔が絶えない楽しい時間を過ごしました。



校歌エール 野川芳雄さん(南高25回卒)



来賓ご挨拶

大沼校長



吉田同窓会会長



山形県人連合会
石澤会長



山形県東京事務所
佐竹副所長



ご来賓一同

- 14:40 懇親会・開会の挨拶 小松会長
- 14:43 物故者への黙祷
- 14:45 校歌斉唱・エール 野川芳雄さん
- 14:50 来賓ご挨拶
 - 山形南高同窓会 会長 吉田福平様
 - 山形南高 校長 大沼 晋様
 - 山形県東京事務所 副所長 佐竹良一様
 - 山形県人東京連合会 会長 石澤良弘様



乾杯 三浦さん(南高3回卒)

- 15:05 乾杯 三浦さん 会食・懇談タイム
- 南高進学状況報告・片桐秀昭さん

- 15:20
- パフォーマンス 工藤正景さん
- 募金のお願いタイム 村岡常任幹事
- 参加者代表よりご挨拶

- 16:20 応援歌「空はコバルト」
- ハーモニカ伴奏 小松会長/エール 野川芳雄さん

- 17:05 閉会の挨拶&花笠三本締め 伊藤副会長



南高生の進学状況報告
片桐秀昭さん(南高12回卒)



パフォーマンスご披露

工藤正景さん(南高62回卒)

ディアボロの日本選手権で、日本一を2回達成。
今春よりプロパフォーマーとして活躍中！



ご寄附のお願い



ふるさと合唱



花笠三本締め



空はコバルト



閉会の挨拶



代表のご挨拶



若手テーブル



🎉80歳_12回卒



まだまだ若手です！



野球部メンバー

「師弟同行」による絆



山形南高等学校
校長 大沼 晋

東京同窓会の皆様には、日頃より本校教育に対しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校の校是の一つに「師弟同行」があります。文字通り「学校という学び舎で、教師と生徒が一体となり共に歩む」ということですが、現在の敷地に山形二中を建設した当時、まさに教師と生徒がグラウンド整地から一緒に汗した姿に象徴されるように、本校教育の根本精神を言い表しています。そうした伝統のもと教師と生徒は、濃密な信頼関係に基づいた人間的絆を結び、教師から影響を受けた生徒が多くいたことは想像に難くありません。

本校に昭和十九年から二十三年間、国語教師として在職され、短歌を始め詩人としても活躍された芳賀秀次郎先生の詩碑が本校校庭にあります。平成九年に教え子たちが先生を慕い、青春時代のモニュメントとして建立したものです。

私の父、鈴木実（南高一回卒・文芸部）も、芳賀先生から大きな影響を受けた生徒の一人でした。当時、芳賀先

生は、山形の短歌の先導者である結城哀草果に短歌の添削をしてもらっていたそう、父は、文芸部で先生から短歌の指導をもらう傍ら、哀草果と家が近いという理由で、毎度芳賀先生の原稿を哀草果に届け、添削された原稿をまた芳賀先生に届けるということをしていたそうです。そうした環境で、ますます短歌にのめり込み、先生と一緒に疎開中の斎藤茂吉の歌会に出席する機会にも恵まれました。父はその後、散文の世界（児童文学）に入って行きましたが、芳賀先生との出会いが将来の父を決定づけたのです。

法華経に「葉草喲品」という話があります。「雨は平等に降り注ぎ、草木を潤すが、草も木もみなそれぞれの大きさに従って潤い、成長し、花を咲かせ、実を結ぶ」という教えです。まさに雨としての芳賀先生、その薫陶は多くの山二中生、南高生に降り注ぎ、それぞれが、それぞれの場所で花咲き、実を結んだのです。

本年創立83周年を迎える本校は、今でも「師弟同行」の校是を大切にしています。将来生徒たちが大きく成長することを願いながら、情熱溢れる先生方は日々の授業や部活動等、個性あふれる生徒たちと一緒にさまざまな教育活動を行っています。

こうした本校の先生方、そして生徒たちに対し、今後も引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

山形県内大学入試ランキング (ダイヤモンドセレクト誌より)

	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年
1	山形東	山形東	山形東	山形東	山形東	山形東	山形東	山形東
2	鶴岡南	山形南	山形南	鶴岡南	鶴岡南	鶴岡南	山形南	山形南
3	山形西	山形西	鶴岡南	山形南	米沢興	山形南	米沢興	米沢興
4	山形南	酒田東	米沢興	山形西	山形南	米沢興	酒田東	東桜学館
5	米沢興	米沢興	山形西	米沢興	酒田東	酒田東	山形西	鶴岡南
6	酒田東	鶴岡南	酒田東	酒田東	山形西	山形西	東桜学館	酒田東
7	長井	長井	長井	新庄北	新庄北	寒河江	鶴岡南	山形西
8	新庄北	新庄北	新庄北	寒河江	東桜学館	新庄北	新庄北	長井
9	寒河江	山形中央	山形北	山形中央	長井	東桜学館	長井	新庄北

南高の進学状況報告

2023年7月1日(土)開催の東京同窓会総会にて、片桐秀昭さん（南高12回卒）より南高の進学状況をご報告いただきました。今回は情報誌をもとに、有名大学合格者数などご紹介いただきました。片桐さんはこれまでも毎回の総会で、南高生の進学状況をご報告いただいております。

※最新の進学状況は南高HPよりご確認ください。

片桐秀昭さん(南高12回卒)



旧友再会



山形南高同窓会
会長 吉田 福平

昨年7月開催の東京同窓会では、小松会長さんはじめ参加者の皆様には大変お世話になり、楽しいひとときを過ごさせていただきました。ありがとうございます。

長く苦しんだコロナも昨年5月に感染症5類に移行され、社会活動もコロナ前に戻った感があります。山形でも都市部のようにはいかないものの、蔵王温泉や銀山温泉を中心にインバウンド需要も高まり、外国人観光客も増加しているようです。

さて、令和5年11月17日、38回卒業弥会・58回卒GO夜会が当番幹事を務め、「トモニ、トモト。our team」をテーマに掲げ、アフターコロナ禍での総会・祝賀会を約500名の参加をいただき開催することができました。東京同窓会小松会長さんにもご出席いただき、席上、片桐秀昭様（南高12回卒）に東京同窓会発

展・充実のため2回に渡り多大なるご寄付をいただいたことに対し、大南高賞を授与させていただきました。今後共ご支援賜りますようお願いいたします。

そして祝賀会の幕明けは、応援団と吹奏楽部、スポーツ部活の生徒も加わり40数名での「大進撃」は会場いっぱい響き渡り乾杯!! その後は南高魂に火がつき、あちらこちらでテーマのごとく共に友と、久々の旧友再会を楽しむことができました。

去る5月26日には、第25回南高同窓会親善ゴルフコンペも、晴天の中144名の参加をいただきプレーすることができ、その後場所を変えての表彰式・懇親会も大変盛り上りの中終了することができました。

いよいよ今年の同窓会、39回卒・59回卒が当番幹事として、11月15日開催に向け準備を進めております。

東京同窓会の皆様のご参加をお待ちしております。

むすびに、東京同窓会ますますのご発展と会員皆様のご健康・ご多幸をご祈念申し上げます。

片桐秀昭氏(南高12回卒)が「大南高賞」を受賞

本部同窓会総会(令和5年11月17日開催)で、片桐秀昭氏が「大南高賞」を受賞しました。片桐氏の姿は多くの同窓生に感動を与え、南高の誇りをさらに高めました。



小松会長と伊藤副会長も列席しお祝いました。

祝 令和6年度 山形南高等学校 東京同窓会総会

令和5年度 山形南高等学校同窓会役員

会長	吉田 福平 (南高22回卒)	副会長	山口 敦史 (南高40回卒)
副会長	吉村 和文 (南高28回卒)	"	與田 貴博 (南高44回卒)
"	須藤 勇司 (南高29回卒)	監事	村岡 義啓 (南高18回卒)
"	鈴木 吉彦 (南高30回卒)	"	豊田 栄一 (南高20回卒)
"	武田 良和 (南高32回卒)	"	坂部 登 (南高18回卒)



山形南高（山形二中、二高） 東京同窓会報

第二十号
令和6年6月29日発行
千代田区平河町2-1-6-13
山形県東京事務所内
山南東京同窓会事務局
小松 栄三郎
編集人代表 土田 和男



「南高魂」について 考える



山形南高東京同窓会
会長 小松 栄三郎

今年の第21回総会は春開催としては2回目となります。秋の開催から春の開催に踏み切ったのは、会計年度が4月に近いこと、当該年度の活動をほぼ4月から、1年単位で考えることができること、学校や社会と活動の時間が合っていること等です。今のところ特段不都合なことは起きていませんので、春の総会を継続していきたいと願っています。皆様のご理解とご協力を戴きたいと思えます。

南高の教育理念

さて、私たち南高生は「文武両道」「師弟同行」「質実剛健」の教育理念のもとに3年間学び舎で学びました。

その中の「師弟同行」の例を挙げます。私は南高2年と3年の時、山形県の英語弁論大会に出場しました。

2年のときの成績は3位、3年のときに優勝しました。優勝した年の会場は酒田東でした。その時のスピーチの原稿の指導をしてくださったのは転動して来られたばかりの佐々木稔先生でした。佐々木先生には3年生のときしかお世話になりませんでした。スピーチの原稿を丁寧に指導してくださったことをよく憶えています。まさに師弟同行だったと思います。

私は部活動は音楽部でした。森山三郎先生が顧問でした。森山先生は、音感教育の大家で、ハーモニを重視され、男声合唱の魅力を私たちに伝授してくださいました。放課後に部員が集まると「おい、歌おう」ということになり、ビーンとハモると「きょう学校に来た甲斐があったな」と喜び合いました。これも師弟同行です。森山先生の音楽の授業は、テノール、バリトン、バスごとに机が並べられていました。私は、声域が広がったので、あちこちのパートを歌わせられました。でもこれも楽しい師弟同行でした。

私が三年の時、第1回南高祭が行われました。私は学級委員でしたので、全クラスの委員が集まる委員会に出席しました。そこで、

「南高祭を成功させるには、3年生が実行委員長になるべきだ」と意見を述べたところ、「では、お前がやれ」と言われ、断れず、実行委員長を引き受けてしまいました。南高祭とは、それまでの体育祭と文化祭を一緒にしたものでした。膨大な準備作業が待ち受けていました。

しかし、特筆すべきことは、学校中が「南高祭」という新しい事業を受け入れたのです。折しも東京オリンピックが始まろうとしていました。オリンピックも見たい。南高祭やらねばならない。そういう中で、私が感動したのは、先生方の協力でした。特に実行委員会の委員たちに、積極的に働きかけてくださったのです。まさに「師弟同行」でした。先生方と生徒たちはひとつになったのです。第1回南高祭は成功裏に終わりました。

「南高魂」と言います。でもそれは何か。定義が難しいですが、生徒と先生の距離が近いこと、一緒に立ち向かう気概を持っていること。それが発展して、苦難に負けず、全力で課題に向かっていくことを意味するようになったのではないのでしょうか。

また南高に誇りを持っていることも意味していると言えます。そういう意味では、同窓会も同じです。同窓会は南高の誇りを思い出させてくれます。

コバルトの空

◆コロナ禍を経て、昨年度の総会は7月1日（土）の開催となった。安全を呼びかけての開催となったが、山形の同窓会本部より吉田会長と大沼校長先生にご出席いただき、再会を喜び合い爆発的に盛り上がった総会・懇親会となりました◆今回の南高生の今は、コロナ禍をものともしない南高生の若き力を示していただいた。写真部の作品展も迫力ある作品を提供いただきました。表紙の作品も何度もトライいただき、締め切りを延長してでも妥協しない作品を頂戴しました◆レジェンド訪問は、第20号記念として、毛利顧問にご登場いただきました。同窓会の醍醐味の一つは、先輩方の生きざまを背中教えていただき、お手本にさせていたいただくことです。正に南高魂を燃え滾らせての挑戦の生きざまを示していただきました◆常任幹事会は毎月、小松会長の下でオンライン開催。秋は本部同窓会への参加と共に、東京同窓会としては辛煮をキーワードとして、秋祭りを企画・開催。若手の皆さんは会費を補助させていただきました◆新たなメンバーも参加いただきました◆今後も継続して開催いたします◆東京同窓会HPの充実にも取り組んでおります。会報誌は第一号からすべての号をデジタル化して掲載。山形に戻られた鈴木常任幹事は「山形の四季折々」と題して県内のイベント写真をタイムリーに掲載していただいております。是非ご覧ください。また、ご希望のイベントや懐かしい思い出の場所を見たいという方はお申し出ください。撮影して掲載いただきます。今後とも期待ください。

土田和男（南高25回卒・野球部）
デザイン・印刷／サンワ印刷紙工株式会社